

臼井・千代田地区の概要

臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校があいついで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画であった。地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

臼井公民館は、常に地域の実態や市民生活の急速な変容にともなう学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざす市民の連帯意識を高める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに務める。

努力目標

より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに務める。

市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に務める。

学級・講座の精選と学習内容の充実に務める。

複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

事業内容

1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく、参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

3. 広報・展示事業

学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。

市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

4. 図書事業

市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。

音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

5. 施設・設備提供事業

開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00

水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）

（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）

使用の受付は原則として、2カ月前の月初めに設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日

その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。

・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

2 . 公民館利用状況

年度別利用状況

年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
区分					
利用件数	2,585	2,526	2,561	2,549	2,516
利用人数	42,304	45,323	47,920	44,428	46,555
開館日数	334	333	333	333	334

十 事 業 の 部 十

事業一覧

領 域	事業名	対象・参加実数	期間・回数	内 容
家 庭	おはなし会 1) おはなし会	小学生～成人 194人	月1回 土曜日 (除8月) 11回	すばなしと絵本の読み聞かせによる子どもたち向けのおはなし会で、本の世界に親しみました。 奇数月はテーマ(今年は「おはなしと遊ぼう」)に沿った作品を集め、年少の子にも広げました。
	2) テーマ設定	4歳児～成人 149人	奇数月 土曜日 6回	夏休みは「こわ～いおはなし会」として国内外の怖いお話を披露し、子どもから大人まで聞きごたえのある一時の清涼を届けました。
教 育	3) 夏休み特別	小学生～成人 108人	8月 2回	
	絵本とわらべうたの会	2・3歳児と親 春～冬4期 15組	4月～2月 春・夏・秋・ 冬 火曜日 各3回 12回	季節感ある楽しいわらべうた遊びと絵本の読み聞かせで、昔からの伝承と温もりある親子関係を育みました。
育	親子ふれあい遊び会	2・3歳児と親 15組	5月～3月 火曜日 11回	子育て支援の事業として、親子や友達と楽しく学びながら、繋がりを深めました。 協力：子育て支援課、白井保育園
	ぴっかりさんの家庭“共育”講演会	幼児～小学校低 学年の児童の保 護者 27人	3月 1回	「心を抱きしめると子育てが変わる」という内容の講演を通して、子育てのコツを学びました。
青 少 年 教 育	手作り楽器教室	小学校 5・6年生 17人	7月 3日間	創造力を育む講座。今年は「ストリートオルガンの笛を作ろう」をテーマに、ストリートオルガンのパイプをまねた笛を作りました。(市民音楽ホール共催事業)
	水辺の観察会	小学校 4～6年生 12人	8月 1回	講義とあわせ、谷津田から印旛沼までの野外観察で佐倉の自然を楽しく学びました。共催：環境政策課
	佐倉学入門講座 「白井城とその時代」	一般 38人	10月 ～12月 3回	地域の特色を活かした入門講座。中世の白井の歴史を探る上で欠かせない「白井城とその時代」について、講義と散策の組み合わせにより学びました。

成人 教育	佐倉学専門講座 「印旛沼の自然」	一般 24人	6月 3回	佐倉市の特色を活かした専門講座。佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することにより、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を再認識しました。（中央公民館共同事業）
	わかりやすい裁判員制度	一般 26人	3月 2回	誰もが候補者となり得る裁判員制度について、「始まるまでに知っておこう」と題して、その内容や問題点について学びました。
	ちょっといいとこみて歩き	中学校～成人 22人	11月～12月 4回	見学学習により佐倉の歴史・文化を知ると共に、自然と環境の変化も考えます。今年は「まちをむすぶ緑の回廊」をテーマとして、緑の回廊を発見しました。
	アートなお仕事探検隊	小学校4年生～成人 11月3日 22人 3月1日 15人	11月～3月 2回 市民音楽ホール 市立美術館	市民音楽ホールや市立美術館での普段は見るできない裏周りを見学し、演奏会や展覧会がどういう流れで出来上がっていくのかを学習しました。本年度は市民音楽ホールで「壁が宙を舞い、天井が落ちてくる」作業など、市立美術館では日本画制作に挑戦しました。
広報 展示	臼井公民館だより発行	一般 1,000部	3月 1回	第16号を発行し、公民館に関するさまざまな情報を提供しました。
	展示室の貸出し	一般	通年	広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供しました。貸出期間は1団体最大連続6日間。
図書	図書の貸出し	一般	通年	市立図書館と連携し、図書の貸出し・返却受付、相談などを行いました。
団体 育成	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟単位子ども会 16団体	通年	単位子ども会の円滑な運営を図るための相談・研修・情報交換や自主事業を実施し、また、親睦を深めました。

1 . 家庭教育事業

おはなし会

おはなし会

開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。

対象・人数 小学校低学年～成人・計194人

開催期間 毎月第2土曜日（原則、8月を除く）11回 14時～14時40分

内容 すばなし3つを佐倉おはなしの会の会員に話してもらう。

会場 白井公民館（学習室）

協力者 佐倉おはなしの会

学習プログラム

月 日	す ば な し		
4 / 14	ねこのなまえ	ふしぎなかめ	トロールとおおぐいきょうそう
5 / 19	おおかみと7ひきのこやぎ	ねずみのすもう	アリョーシカとイワーシヌカ
6 / 9	まめたろう	だいくとおにろく	王様のみみは口バのみみ
7 / 14	イソップ物語「ねずみとらいおん」「うしとかえる」	かんたさまのいびき	元気なしたてや
9 / 2	山を追われた鯨	三つのねがい	はらぺこピエトリン
10 / 13	わらしべ長者	トッカビのいたずら	ちび三郎と魔女
11 / 10	かしこいカメ	ことばが話せるトリ	ブレーメンの音楽隊
12 / 8	ひなどりとねこ	金のつばき	クリスマスのおくりもの
1 / 12	茶クリカキ	だんまりくらべ	森の家
2 / 9	ハーメルンのふえふき	おそばのくきはなぜあかい	バーバヤガー
3 / 8	おおぐいひょうたん	やさしいたんぽぽ	おうさまと9人のきょうだい

講座を終えて

参加している子どもたちの表情は楽しそうであり、おはなし会後に紹介した本もよく借りられているが、少子化もあり、参加人数が毎年減っているのが残念である。

テーマ設定（おはなしと遊ぼう）

開設趣旨 すばなしの他にパネルシアター・絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるようにする。今年度は「おはなしと遊ぼう」をテーマに、動きのある楽しいおはなしとなるよう、工夫して実施した。

対象・人数 4歳児以上・計149人

開催期間 年6回、奇数月第2土曜日（原則） 15時～15時40分

内容 「おはなしと遊ぼう」をテーマに、楽しいおはなしを揃えた。

会場 白井公民館（学習室）

協 力 者 佐倉おはなしの会

学習プログラム

月 日	内 容
5 / 19	おちゃのじかんにきたトラ（絵） わらわらないおうじょ（テ） かえるのえんそく（す）
7 / 14	おばけちゃん（パ） せんたくかあちゃん（絵） ふるがさふるみのふるちょうちん（す）
9 / 2	うみべのハリー（絵） ねずみのおよめさん（す） くるるんじどうしゃ（絵巻もの） ふたりのあさごはん（テ）
11 / 10	だれのじてんしゃかな（パ） ちびゴリラのちびちび（す） あかずきん（テ）
1 / 12	おんぶおばけ（絵） ふうふうぱたぱた（す） ごびととくつや（パ）
3 / 8	チューリップ（パ） くつがじまんのむかでさん（絵） こもりどろぼう（す）

記号：（パ）...パネルシアター、（絵）...絵本の読み聞かせ、（す）...すばなし、（テ）...テーブル人形劇

講座を終えて

通常のおはなし会よりも低年齢向きなので、保護者と参加している子どもが多い。帰りに親子で感想を話し合いながら帰宅する姿が見られ、事業の実施に手ごたえを感じた。

夏休み特別おはなし会 -こわ~いおはなし-

開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。

対象・人数 小学生以上・計108人

開催期日 8月22日（水曜日） 第1部 14時～14時40分
第2部 15時～15時40分

内 容 すばなし

会 場 臼井公民館（集会室） （関係書籍の展示...展示室）

協 力 者 佐倉おはなしの会

学習プログラム

す ば な し				
第1部（日本編）	幽霊滝の伝説	番町皿屋敷	ろくる首	
第2部（外国編）	黄色いリボン	あかりをもってきてくれ	トルーデおばさん	吸血鬼ドラキュラ

講座を終えて

この夏休み特別おはなし会も、残念ながら年々人数の減少が見られる。

絵本とわらべうたの会

開設趣旨 親子一緒に参加する絵本の読み聞かせとわらべうた遊びを通して、良好な親子関係を醸成する。

対象・人数 2・3歳児と親、15組

開催期間 春 4月24日 / 5月8日 / 29日（火曜日） 10時～11時
夏 6月19日 / 7月3日 / 17日（火曜日） 10時～11時

秋 10月16日/30日/11月6日(火曜日) 10時~11時

冬 2月5日/19日/3月4日(火曜日) 10時~11時

内 容 幼児向け絵本の読み聞かせ(3冊程度)と親子でスキンシップできる季節に合わせたわらべうた遊びを組み合わせで行う。

会 場 臼井公民館(集会室)

指 導 者 グループのはな(林 紅仁子、高島祐子、藤原道子)

講座を終えて

平成16年度から実施している講座で、今年で4年目に入る。リピーターが多く、参加して確実に収穫があったことはアンケート結果にも見られる。ただ、保護者に”おまかせ”感があるので、それをどうやって改善していくかがこれからの課題である。

親子ふれあい遊び会

開 設 趣 旨 親と子がさまざまな遊びを通して、きずなを深める。指導には保育士のほか市民有志(子育て中の母親)が加わり、子育て支援事業の一環として実施する。将来的にはグループ・サークルを形成し、自主的に活動することができるように育成支援する。

対 象 ・ 人 数 2・3歳児と親、15組・のべ396人

開 催 期 間 5月~3月、毎月1回 第4火曜日(原則) 10時30分~11時30分

内 容 母親が子育ての中で、体験を通して見つけた楽しい遊びや行事を取り入れた活動を行う。遊び方を共有し広めることで、円滑な親子・友だち関係を形成する。

会 場 臼井公民館(集会室)

協 力 子育て支援課・臼井保育園・健康管理センター

学習プログラム

回数	日 時	内 容	指 導 者
1	5月22日(火) 10:30~11:30	ハンカチやタオルを使ってあそぼう、絵本の読み聞かせ	母親有志
2	6月26日(火) 10:30~11:30	七夕飾りを作ろう!	母親有志
3	7月24日(火) 10:30~11:30	小麦粉粘土で遊ぼう!	母親有志
4	8月28日(火) 10:30~11:30	親子で楽しむわらべうた遊びなど	母親有志
5	9月25日(火) 10:30~11:30	わらべうた、手遊び、絵本の読み聞かせ	母親有志
6	10月23日(火) 10:30~12:00	ミニ運動会&参加者交流(昼食会) (御伊勢公園にて)	母親有志

7	11月27日(火) 10:30~12:00	クリスマス飾りを作ろう	母親有志
8	12月25日(火) 10:30~11:30	クリスマス会	グループ・森のくまさんほか
9	1月29日(火) 10:30~11:30	体操で温まろう	さんほか
10	2月26日(火) 10:30~11:30	早寝・早起きのすすめ	健康管理センター保健師ほか
11	3月25日(火) 10:30~11:30	集まれプレ！4歳児 (就園予定のない親子が集える機会づくり)	母親有志

講座を終えて

バスタオルでゆりかごをしたり、七夕飾り、クリスマス飾りを作ったり、どこにでもある身近な素材で親子が触れ合った。参加者からは、子どもと一緒にでも大丈夫なようであれば手伝いをしたいという感想も聞かれたので、今後に期待がもつことができた。

ぴっかりさんの家庭”共育”講演会

「心を抱きしめると子育てが変わる」

開設趣旨 子育て中の保護者を対象に、育児の悩みや子育ての疑問に答えるための講演会を開催する。

開催期間・会場 3月20日(木) 10時~12時

対象・人数 幼児~小学校低学年の児童の保護者・27人

内容 良い親子関係を築き、保護者同士の交流を生むための契機とする。

会場 臼井公民館(集会室)

講師 萩原 光(子育てカウンセラー、佐倉市在住)

講座を終えて

子どものストレス、親のストレス、子育てに悩む時、子どもの泣き・ダダこね・甘えの意味、無理にガマンしている子ども、お母さんのイライラ脱出法、「大人の私」と「小さな子どもの私」「いま、ここにあるシアワセを見つける・・・」といった多くの親子の実例の紹介から「親子でともに手を取りあって成長していける子育てのコツ」を学ぶことができた。

家庭で子どもを抱える母親にとっては、日頃の悩みを講師に質問としてぶつけ、回答を得る機会ともなった。話すことで、いくらかでもストレスを発散できたようでもある。家庭に籠もりがちな母親と社会の架け橋として公民館が果たすべき役割について考えつつ、今後も家庭教育事業を実施していきたい。

2. 青少年教育事業

手作り楽器教室

「ストリートオルガンの笛を作ろう」

開設趣旨 子どもたちに自らの手でモノを作り出す楽しさと音を奏でる喜びを体験する機会を提供し、考え文化創造できる「佐倉っ子」を育む。

対象・人数 小学校5・6年生 17人

開催期間 7月24・25・26日(3日間) 13:30～15:30

内容 ストリートオルガン(ストオル)を題材に採りあげ、そのパーツであるパイプを模した四角い笛を製作しながら、豊かな音色の不思議やその構造を学ぶ。(市民音楽ホール共催事業)

会場 臼井公民館(創作室)

学習プログラム

回数	日時	学習内容	指導者
1	7月24日(火) 13:30～15:30	音の科学・ストオルの仕組み	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)
2	25日(水) 13:30～15:30	ストオルの笛製作	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)
3	26日(木) 13:30～15:30	ストオルの笛製作と音程調整 (本物のストオルを観察、作った笛と比較する)	岩崎 知郎 (音楽家・古楽器製作者)

講座を終えて

今回の手作り楽器教室では、笛を製作した。パイプの大小や長さによって音程が異なり、はじめ工作に不慣れな子どもたちの四苦八苦する様子が見られた。馴れるにしたがいそれぞれ2本程度の笛を完成させ、夏休みの良い自由研究になったことと思う。

最終日には、本物のストリートオルガンを部屋に持ち込み、3日かけて作ったパーツがその一部として使われている楽器を一層興味深く観察していた。ホール複合施設ならではの事業になった。

水辺の自然観察会

開設趣旨 子どもたちに佐倉の自然を身近に感じ、守り伝えることの大切さを学んでもらいたい。

対象・人数 小学校4・5・6年生 12人

開催期間 8月23日(木) 10:00～16:30

内容 講義と野外観察を通じ、身近な自然と環境について楽しく学ぶ。
(共催：環境政策課)

会場 臼井公民館(創作室)及び野外(直弥公園・上手線川植生浄化施設・印旛沼)

講師 新島 偉行(元県立国分高等学校教諭)

岩井久美子(財団法人千葉県環境財団)ほか

学習プログラム 午前 - 講義「谷津の自然」(スライドを使い谷津の現況を学習)

「水の流れ」(スライドと地下水キットを使い、湧水から印旛沼に注ぐまでを学習)

午後 - 野外観察

昼食後、バスに乗り市内3箇所を巡り、さまざまな動植物を採取・観察

1. 直弥公園谷津田生態系保全地域
2. 上手繰川植生浄化施設
3. 鹿島川河口・印旛沼

講座を終えて

環境政策課と共催で実施した事業で、3年目となる。

子どもたちは、午前中の講義で基本を学んだ上で、午後の過程へと進んだ。上流・中流・下流を順に巡り、それぞれで動植物を観察する機会となった。直弥沢の谷津ではホトケドジョウ、サワガニ、カワニナ、オニヤンマのヤゴ、オニヤンマ、ヤマカガシ、シューレゲルアマガエル、直弥沢の水路・直弥公園ではスナヤツメ、ドジョウ、タモロコ、アメリカザリガニ、カワニナ、ヒメゲンゴロウ、スジエビ、シューレゲルアマガエル、オニヤンマのヤゴ、メダカ、畔田沢水路ではトウキョウダルマガエル、ヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、ハグロトンボ、シジミ、アブラゼミ、シオカラトンボ、上手繰川植生浄化施設ではスジエビ、ヨシノボリ、ヌマチチブ、ドジョウ、ハグロトンボの生息を確認できた。

3 . 成人教育事業

佐倉学入門講座

「臼井城とその時代」

開設趣旨 地域の特色を活かした入門講座である。中世の臼井の歴史を語る上で欠かせない「臼井城とその時代」について、講義と散策で学ぶ。

対象・人数 一般・38人

開催期間 平成19年11月6日～12月1日(土) 全3回

学習目標 佐倉の歴史を学ぶ力を養う。

会場 臼井公民館(集会室)・現地

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	10月6日(土) 14:00～16:00	講義	臼井城とその周辺	日暮 冬樹 (市教育委員会文化課)
2	11月3日(土) 14:00～16:00	講義	上杉謙信と臼井城合戦	外山 信司 (県立浦安南高等学校)
3	12月1日(土) 9:30～16:00	講義・散策	臼井城跡歴史散策 (2班分け)	遠山 成一 (県立四街道高等学校)

講座を終えて

戦国時代には臼井城を舞台として大きな合戦が2度にわたり行われている。その一つは武蔵国江戸城主・太田道灌による文明11年(1479)の臼井城攻略、一つは関東管領・上杉輝虎(謙信)による永禄9年(1566)の臼井城攻撃である。そして、臼井氏、武蔵千葉氏、臼井氏、原氏、里見氏、原氏というように、その地域権力支配の交替をみた臼井城は、戦国末期の原氏の時代には相模小田原の後北条方にあったことから、天正18年(1590)5月の豊臣秀吉による小田原征討と命運を共にした。

また、この年8月19日に臼井城主に配された徳川家康家臣・酒井家次(1564～1618)は臼井を3万石の城下町として整備したが、家次が慶長9年(1604)に上野国高崎転封されると臼井城は廃城となった。

なお、この臼井城跡の周辺は住宅地開発により変貌が著しい。しかし、その中心部分は現在でも往時の景観を留めていて貴重な文化遺産となっている。このように身近な場所に自然豊かな遺産があることは、公民館事業を展開していく上でのフィールドとして貴重であり、今後もさまざまな角度から焦点をあて積極的に活用していきたいと思う。

佐倉学専門講座

「印旛沼の自然」

開設趣旨 佐倉市の特色を活かした専門講座である。佐倉の象徴とも言える「印旛沼」をはじめとした身近な自然について学び、体験することにより、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を再認識する。(中央公民館共同事業)

対象・人数 一般・24人

開催期間 平成19年6月16日～6月30日(土) 全3回

学習目標 印旛沼の自然について理解を深める。

学習プログラム

回数	日 時	学 習 内 容	会 場	指 導 者
1	6月16日(土) 13:30~16:30	印旛沼に流れる水の旅 雨 にはじまる水環境の概要	中央公民館	NPO法人水環境研究所
2	6月23日(土) 13:30~16:30	現地視察 湧水を視る	上座公園ほか	NPO法人水環境研究所
3	6月30日(土) 13:30~16:30	知識から実物 水の汚れと 人のかかわり	中央公民館	NPO法人水環境研究所

講座を終えて

全3回の講座であったが、印旛沼の水環境の現状について、その知識を得たいという参加者が多かった。なお、参加者の年代は60歳代が大半であり、今後事業を継続するには若年層をどう引き付けていくのか工夫していく必要がある。

ちょっといいとこ見て歩き

「まちを結ぶ緑の回廊」

開設趣旨 佐倉市内や近隣地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化を考える。

対象・人数 一般・22人

開催期間 平成19年11月7日~12月5日(水) 全4回

学習目標 緑や自然、歴史・まちの成り立ちまで欲張りに見て歩く中で、それぞれのまちからの緑の回廊を発見する。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	11月 7日(水) 9:30~16:00	見学学習	王子台の歴史・千代田地区の 古木を巡る (臼井公民館~臼井公民館)	高橋 三千男 (元中央公民館長) 松平 喜美代 (千葉県自然観察指導員)
2	11月14日(水) 9:30~16:00	見学学習	下志津の緑と谷津・上志津の 緑と街を歩く (ユーカリが丘駅改札前~ 志津駅)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)
3	11月21日(水) 9:30~16:00	見学学習	里山の緑から沼の水辺へ (大佐倉駅改札前~京成佐 倉駅)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)
4	12月 5日(水) 9:30~16:00	見学学習	志津の丘から臼井の丘へ (志津コミュニティセンタ ー~臼井公民館)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)

講座を終えて

昨年は「大人も社会課見学」と題して、市内各地を巡りながら各種の施設見学を併せて行ったが、今年は「まちを結ぶ緑の回廊」と題して、寺院・神社・民家の古木・樹林を巡り、たくさんの緑と触れ合った。市内に残された貴重な緑、これからも大切にしていこうの必要性を感じた。

わかりやすい裁判員制度入門

「始まるまでに知っておこう」

- 開設趣旨** 裁判員制度が平成21年5月21日から開始される。国民が裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするのかを裁判官と一緒に決めるという「国民の司法参加」を実現する制度について学ぶ。
- 開催期間・会場** 3月14日（金）、23日（日） 13時～16時
- 対象・人数** 一般・計26人
- 学習目標** 裁判員制度についての理解を深める。
- 会場** 臼井公民館（学習室・集会室）
- 学習プログラム**

回数	日時	学習内容	指導者
1	3月14日（金）	分かりやすい裁判員制度	黒沢 香 （東洋大学教授）
2	3月23日（日）	分かりやすい裁判員制度	黒沢 香 （東洋大学教授）

講座を終えて

「私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。」という裁判員制度。選挙権のある人の中から、翌年の裁判員候補者となる人が毎年くじで選ばれ、裁判所ごとに裁判員候補者名簿が作成される。候補者への通知・調査票の送付後に、裁判員候補者名簿の中からくじで事件ごとの裁判員候補者が選ばれる。次いで、選任手続期日のお知らせ（呼出状）・質問票の送付があり、裁判所で候補者の中から裁判員を選ぶための手続きが行われる。……という手順により選ばれた裁判員6人は、裁判官3人と、強盗致傷、殺人、現住建造物等放火、強盗致死傷、傷害致死、強制わいせつ致死傷、強盗強姦、覚せい剤取締法違反、強盗致死（強盗殺人）、危険運転致死、偽造通貨致死、銃砲刀剣類所持等取締法違反、通貨偽造、組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律違反、集団強姦致死傷、保護責任者遺棄致死、麻薬取締法違反、身の代金目的誘拐などの事件に参加する。

東洋大学社会学部社会心理学教授・黒木 香さんから、わかりやすく解説を加えていただいた、誰もが裁判員に選ばれる可能性のあるこの裁判員制度について、講座参加者は熱心に聞いていたが、自分が裁判員になったらという不安も残ったようである。

アートなお仕事体験隊

- 開設趣旨** 市内にある文化・芸術分野の施設である市民音楽ホールと美術館で、普段見ることのできない「舞台裏」を見学、事業がどういった仕事の積み重ねで完成されるのかを学ぶ。
- 対象・人数** 小学校4年生～成人まで
市民音楽ホール 22人
市立美術館 15人
- 開催期間・会場** 11月 3日（土） 10:00～12:00 市民音楽ホール
3月 1日（土） 13:30～16:30 佐倉市立美術館
- 学習目標** 今回は様々な体験を通じて、何気なく見ている催し物を多角的な視点から捉え、より楽しく鑑賞できるようにすることに主眼を置いた。鑑賞時の興味や理解度を高める他、文化施設が親しみを持って入れる身近な施設と感じられるようにする。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	指導者	会場
1	11月3日 (土)	見学学習	バックステージ・ツアー 「壁が宙を舞い、天井が落ちてくる !？」 幕から音響反射板・幕セッティング 、照明・ピンスポットライト当て、 ストリートオルガン演奏などを体験 学習した。	市民音楽ホール 職員	市民音楽ホール
2	3月1日 (土)	見学学習	「浅井忠に洋画を学んだ日本画家 芝 千秋展 鉛筆画・水彩画・日本 画など」 知ろう、描こう 日本画入門 担当学芸員による「芝 千秋展」の展 示解説とふだん見ることのできない 美術館の裏側見学、そして日頃機会 の少ない日本画制作に挑戦した。	美術館学芸員 (展示解説) 鵜沼 キヤ (日本画家、佐倉 市在住)	佐倉市立美術館

講座を終えて

この講座は、鑑賞者が目にする以前の下準備にはどういったものがあり、どうした労苦があるのか、その一端を理解し文化施設に対してより多くの興味を持ち、良い意味で他の人とは違った視点からも鑑賞できる文化事業の良き理解者となって欲しいという期待をこめた事業である。

市民音楽ホール、市立美術館での裏方の仕事を知り、また、自らが体験することにより、文化活動に関心を持つ人たちが多く育っていった欲しいと思う。

4 . 広報展示事業

広報事業

臼井公民館だより(第16号)

趣 旨 公民館事業、グループ活動等を紹介し、公民館活動の理解を深め積極的な参加を図る。

発行回数 1回(3月)

及び部数 1,000部

規格等 A4版4ページ、1色

配布方法 公民館・市民音楽ホール内のパンフレットコーナー等に配置。

展示室の貸出し

市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、30前後の年間利用団体がある。

開室日・開室時間 月(第1・3・5)・火・木・日曜日 9時~17時

水・金・土曜日 9時~21時

休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等

使用について 予約受け付けは6ヶ月前から

貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。

使用料について 原則として無料。但し、個展・先生展・教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。

使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

・19年度開催展示会一覧

行 事 名	主 催 者	期 日	入場者数
刻字愛好会展	佐倉刻字愛好会	4月18日~22日	186人
観光写真コンクール入賞作品展	佐倉市観光協会	5月2日~7日	184人
第5回作品発表会	シバ-人材センター写真同好会	5月15日~20日	412人
第14回臼井ルネサンス会 ・作品展	臼井ルネサンス会	5月22日~27日	817人
さつき展	佐倉臯月会	6月3日~5日	875人
紫門会展	紫門会	6月19日~24日	404人
杉の子グループ展	杉の子	6月26日~7月1日	391人
書道展	舟戸書会	8月31日~9月2日	82人
第1回グループ展	墨 jiyu-jinn	9月4日~9日	200人
春秋展	春秋会	9月11日~16日	555人
平成19年度市高連作品展	佐倉市高齢者クラブ 連合会	9月19日~21日	335人
個展	小川雅浩(有料)	10月2日~7日	138人
手編みニット作品展	羊の会	10月9日~13日	333人
華道展	市民文化祭実行委員会	10月20日~21日	1,203人

手工芸展、園芸展	市民文化祭実行委員会	10月24日～28日	855人
吐夢展	吐夢の会	11月20日～25日	339人
草花の水彩画展	花よう美の朝	11月27日～12月2日	236人
第6回作品発表会	シバ-人材センター-写真同好会	5月15日～20日	177人
読書感想画作品展	佐倉南図書館	1月25日～30日	243人
トールペイント・チャイナペイント作品展	ペイントサークルひまわり(有料)	2月7日～9日	107人
折り紙 作品展	秋桜	2月21日～24日	379人
第22回油絵展	白蝶会	3月4日～9日	539人
絵手紙展	絵手紙ひまわりの会	3月11日～16日	397人
ワールサークル作品展	ワールサークル	3月18日～23日	274人
書道展	書を楽しむ会	3月28日～30日	114人

* 入場者数は主催者届け出による

5 . 図 書 事 業

開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9時～17時

休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出す。

蔵 書 数

- ・一般図書 26,671冊
- ・郷土資料 1,720冊
- （音楽関係図書を含む）
- ・その他 727冊
- ・児童図書 11,530冊
- ・楽 譜 4,108冊

蔵書冊数 44,756冊（平成20年3月末現在）

- ・雑 誌 22誌
- ・新 聞（朝刊） 7紙

月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	3,786	4,042	3,935	4,191	4,411	4,088	3,892	3,848	3,478	3,296	3,989	4,138	47,094
貸出冊数	10,559	11,404	11,204	11,987	12,455	11,180	10,997	10,789	9,885	9,569	11,350	11,526	132,905
開館日数	24	26	25	25	26	25	25	25	22	19	24	25	291

白井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営をめざす。

6 . 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会(臼井子連)

臼井地区の単位子ども会の発展をねがい、関係機関団体との連携をはかりながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

加盟団体数 16 団体

主な事業

- 4 / 13 (金) 総会・安全会説明会
- 8 / 25 (土) 臼井ふるさとにぎわい祭りに参加(模擬店出店・チャリティー寄付)
- 10 / 28 (日) 中央交流フェスティバルに参加(於:佐倉草ぶえの丘)
- 3 / 26 (水) 臼井子連子ども会員(小学6年生)バスハイキング
トトロから最新作まで アニメの世界へレッツ・ゴー!
ジブリ美術館と井の頭自然文化園見学 (東京都三鷹市・武蔵野市)

かたりべの会

昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話しを語ることを目的に、毎月1回、お話の練習として定例会を行っている。

定例会 第2水曜日 10時~12時 各人が覚えてきたお話を語り、後で感想を述べあうなどして、技術の向上を図る。月1回、会だよりを発行。

会 員 25名

活動記録 定例会 4 / 11・5 / 9・6 / 13・9 / 12・10 / 10・11 / 14・
12 / 12・1 / 9・2 / 13・3 / 12

毎月第3月曜日に、文庫「小さな図書館」にて、おはなし会を開催。